

# 松本市のスーパーシティ構想

世界に先駆けるスーパーシティ松本

～市民と地球のいのちを守る～



## 選択と集中の“松本モデル”（松本医療圏：松本市、塩尻市、安曇野市など3市5村）

### 新型コロナ受入れ病院

軽・中等症



松本市立病院

透析・中等症



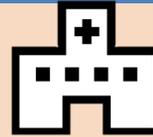
相澤病院  
(民間)

中等症



まつもと医療センター  
(国立)

子ども・妊婦



県立こども病院

重症



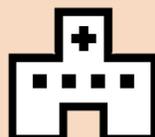
信州大学附属病院  
(国立)

中等症



安曇野赤十字病院  
(民間)

軽症



松本協立病院  
(民間)

“あえて” コロナ以外対応



藤森病院  
(民間)



丸の内病院  
(民間)

- ・新型コロナウイルス対策で注目を浴びている「松本モデル」。これは一朝一夕にできたものではありません。
- ・松本市を含む3市5村で形成する松本医療圏には、国立、県立、市立、民間といった設立母体の異なる病院があります。これらの病院が15年前から救急医療や災害時の役割分担を議論してきました。病院が一堂に会し、縦割りの壁を越えて連携・役割分担を調整してきたので、コロナの際にそれが機能したと言えます。

「病病連携」「病診連携」にとどまる情報連携を、介護を含む地域包括ケア分野まで広げるうえで、どのようなICT基盤が有効であるかまとめたもの

## 全37ページの報告書目次部分抜粋

### 検討の経過

- ・研究会の進め方
- ・方向性

### 研究会のまとめ

- ・松本版PHRの意義
- ・データの内容
- ・データの取得方法
- ・活用局面
- ・局面別のデータ活用
- ・期待される効果と課題

### 今後の展開

- ・直面する財源確保とシステム運用
- ・M-PHRの効率的な運用と運営主体
- ・M-PHR実現化に向けた検討
- ・M-PHRからより社会性の高いPLRへ

## 研究会 会員の肩書き

平成28年時点

(◎:座長)

- ◎松本市医師会理事・松本市立病院病院長
- ・松本市地域包括ケア協議会会長・倉科医院院長
- ・松本市医師会理事・野村医院院長
- ・松本薬剤師会副会長・スズラン薬局取締役
- ・松本市歯科医師会副会長・杉山歯科医院院長
- ・信州大学医学部保健学科教授
  - ・信州大学附属病院医療福祉支援センター長
- ・松本市医師会医療連携委員会副委員長
  - ・社会医療法人財団慈泉会相澤東病院院長
- ・MISC (Medical Information Systems Consulting) 代表
- ・株式会社長野メディカルサポート代表取締役
- ・医療アドバイザー・元国立松本病院事務部長
- ・医療アドバイザー・元国際医療センター技師長
- ・松本市政策部 政策部長
- ・松本市健康福祉部 健康福祉部長
- ・松本市商工観光部 健康産業・企業立地担当部長
- ・松本市病院局 病院局長
- ・松本市総務部 情報政策課長
- ・松本市政策部 政策課長
- ・松本市健康福祉部 介護予防担当課長
- ・松本市健康福祉部 医務課長
- ・松本市地域づくり部 地域づくり課長

# サステナブルな医療・福祉・健康づくり

利用者 市民、医療機関、介護施設、薬局、大学、企業、松本市など

分野 医療・介護  移動  支払い  防災  行政

## 避難所運営の効率化



独居高齢者の増加

## 出かける医療機器による地域医療の高度化



市域が広いことによる医療サービスの偏り



## 生涯健康情報の電子データ化



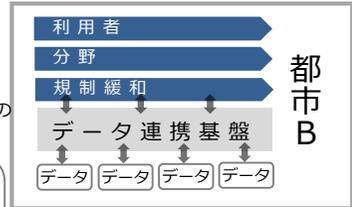
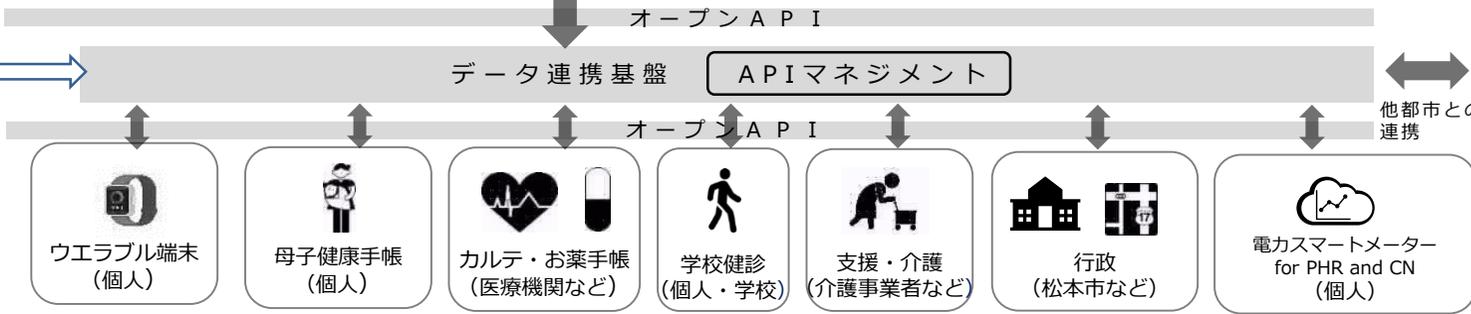
## 医療ビッグデータの活用



本人の同意のもと、医療従事者、介護従事者等と相談しながら、自身の健康管理にPHRを活用

規制緩和 医療法、医師法、薬機法など

マイナンバー制度



ファイナンス原則 民間事業者：防災以外の全ての先端的サービスなど + 松本市：データ連携基盤年間保守費+防災 + 国：関係府省庁の集中支援

# 住民説明会の開催、パブリックコメント等、住民その他の関係者の意向把握のために講じた措置

## 1 住民説明会等

開催日	開催方法（会場、手法、団体名等）	説明者	参加者数 （視聴回数）
R2.11.16	多事争論会（安曇・奈川地区）	市長・副市長	60人
R2.12.14	〃（田川・庄内・鎌田・松南地区）	〃	46人
R3.1.13	説明動画の配信（YouTube市公式チャンネル）	副市長	604回
13	関係者向け説明会（町会連合会常任理事会）	職員	35地区
14	〃（基本構想2030市民会議）	副市長	委員21人
17	オンライン説明会（YouTube市公式チャンネル）	〃	1,115回
19	〃	〃	776回
27	〃	〃	643回
R3.2.4	〃	〃	633回
10	関係者向け説明会（松本商工親和会連合会）	職員	7人
11	住民向け説明会（松本市勤労者福祉センター）	副市長	34人
15	〃（奈川地区地域づくりセンター）	〃	26人
17	〃（安曇地区地域づくりセンター）	〃	15人
24	〃（松本市総合社会福祉センター）	〃	5人
25	〃（中央地区町会）	〃	23人
R3.3.1	〃（芳川地区地域づくりセンター）	〃	25人
12	〃（松本商工会議所）	〃	24人
29	〃（松本市波田商工会）	職員	13人
R3.4.8	応募直前オンライン説明会（構想案発表） （CATV生放送+YouTube市公式チャンネル生配信）	市長	11回
11	住民向け個別相談会（イオン南松本店）	副市長	4人

## 2 パブリックコメント

R3.1.8～R3.2.7（31日間） 32件（16人）

## 3 市議会への協議・報告等

R2.10.20 スーパーシティ構想の制度概要を報告

11.18 市の取り組み状況を報告

12.25 申請に向けた基本的な考え方の案を協議

R3. 1. 6 〃

2.22 選定した連携事業者を周知

3.11 パブリックコメントの結果及び推進体制について報告

## 4 関係団体との意見交換

R2.10.29 一般社団法人 松本市医師会

R2.12. 3 信州大学附属病院

R2.12.23 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

## 5 その他周知

### (1) テレビ放送

R3.1. 1 放送局：CATVテレビ松本

解説！松本市のスーパーシティ構想～急速に進むDX～

R3.3.13 放送局：SBC信越放送

DXで目指す松本のまち～2030年に向けた挑戦～

### (2) 市広報紙特集記事（広報まつもと）

R2年12月号（R2.11.26発行）

・宮之本副市長が語る ～デジタル化とスーパーシティ構想～

R3年1月号（R2.12.25発行）

・スーパーシティ構想とは

R3年3月号（R3.2.25発行）

・スーパーシティ構想 Q&A

### (3) 松本商工会議所会報（会報まつもと）

R3年3月号（R3.3.12発行）

・宮之本副市長インタビュー記事 ～DXで目指す松本のまち～

## ○住民等の意向把握、確認について今後の予定

これまで、対面およびオンラインでの対話を約20回開催してきました。住民はおおむね賛成です。

しかし、スーパーシティ構想自体を知らない住民が多いのが現状です。

区域指定後は、これまで以上に、コミュニケーションを図り、住民合意を取得してまいります。

松本市の一般診療所所在地

日本医師会データから作成

独居高齢者の増加

郊外・山間部  
通院課題

診療所の偏在

## 松本市の特徴

- ① 10万人当たりの医師数が全国平均の1.5倍
- ② 「松本モデル」として注目されている病院間の連携

## 【第1段階】

車両を用いない  
オンライン診療・服薬指導



信州大学附属病院

相澤病院

松本市立病院

## 【第3段階】 移動する診療所



市立診療所

## 【第2段階】 車両を用いた オンライン診療・服薬指導



松本市の人口分布推定

※データ引用先：ヤフー(株)DS.INSIGHT



# 新たな規制・制度改革の提案

No	①提案名	②具体的な事業の実施内容	③「②」の事業を実施した場合に想定される経済的社会的効果	④「②」の事業の実施を不可能又は困難とさせている規制等の内容	⑤「④」の規制等の根拠法令等	⑥「④」及び「⑤」の規制・制度改革のために提案する新たな措置の内容	⑦参考資料がある場合は、その有無
2	出かける医療機器による地域医療の高度化	<p><b>移動医療サービスを段階的に高度化</b></p> <p>【第1段階】 車両を用いないオンライン診療・服薬指導</p> <p>【第2段階】 車両を用いたオンライン診療・服薬指導</p> <p>看護師が車両に乗り込み診療をサポート。サポート拡大のため、派遣看護師を登用。</p>	<p>・オンライン診療により、病院や診療所内の混雑が緩和され、院内感染等の2次感染リスクが軽減されます。</p> <p>・従来の「対面診療」に加え、「車両を用いないオンライン診療」、「車両を用いたオンライン診療」、「移動する診療所」と計4つのメニューをそろえることで多様な医療ニーズにこたえます。</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（0410事務連絡）において、初診からの情報通信機器を用いた診療の実施や処方箋の取扱いについて示されていますが、取扱いは時限的・特例的なものとなっています。0410事務連絡の恒久化に向けた措置を提案します。</p> <p>原則、初診は対面診療のみとなっています。（0410対応下では可）</p> <p>オンライン服薬指導は、同一内容の処方箋により調剤された薬剤で、あらかじめ、当該患者に対面指導を行ったことがないと行えません。（0410対応下では可）</p> <p>など</p> <p>オンライン服薬指導を受けられる場所は、対面服薬指導が行われる場合と同程度に清潔かつ安全、かつプライバシーが保たれる空間でなければなりません。</p> <p>正規雇用でない派遣看護師は、診療所、居宅等において診療サポートができません。</p>	<p>・オンライン診療の適切な実施に関する指針V-1-(5)-②</p> <p>・通達薬生発0331第36号（R2.3.31）第2-(3)</p> <p>・薬機法第9条の3第1項</p> <p>・薬機則第15条の13第2項 （参考：0410事務連絡：2.(2)）</p> <p>など</p> <p>・通達薬生発0331第36号（R2.3.31）第2-(4)-⑤</p> <p>・労働者派遣法第4条1項</p> <p>・労働者派遣法施行令第2条</p> <p>・保健師助産師看護師法</p>	<p>初診の対面診療、初回の対面服薬指導などの原則を条件付、段階的に緩和(0410事務連絡の恒久化に向けた措置)</p> <p>車両を用いたオンライン服薬指導を可能とする措置</p> <p>正規雇用でない派遣看護師も診療所、居宅等での診療サポートを可能とする措置</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p>

# 新たな規制・制度改革の提案

No	①提案名	②具体的な事業の実施内容	③「②」の事業を実施した場合に想定される経済的社会的効果	④「②」の事業の実施を不可能又は困難とさせている規制等の内容	⑤「④」の規制等の根拠法令等	⑥「④」及び「⑤」の規制・制度改革のために提案する新たな措置の内容	⑦参考資料がある場合は、その有無
2	出かける医療機器による地域医療の高度化	<p><b>移動医療サービスを段階的に高度化</b></p> <p>【第3段階】 移動する診療所</p> <p>車両に医療機器を搭載し、車両自体を診療所化する。</p>	<p>・車両自体を診療所化することで、市内に6ヶ所ある市立診療所の建物及び医療機器にかかるコストを削減できます。 ※診療所の中には週1回、1時間のみ診療のところもあります。</p> <p>・従来の「対面診療」に加え、「車両を用いないオンライン診療」、「車両を用いたオンライン診療」、「移動する診療所」と計4つのメニューをそろえることで多様な医療ニーズにこたえます。</p>	<p>医療を提供する場所として、そもそも車両が定義されていません。 (車両における構造要件や医療行為について、明確な基準がありません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法第1条の2第2項</li> <li>・医療法施行規則第1条</li> <li>・オンライン診療の適切な実施に関する指針V-2-(2)-①</li> <li>・医療法第23条</li> <li>・医療法施行規則第16条第2項</li> </ul>	<p>車両において医療を提供するための措置</p>	なし
			<p>医療機器を車両搭載する場合の品質・安全性に関する基準がありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法施行規則第1条の11第2項第3号八</li> <li>・薬機法第23条の2の5</li> <li>・薬機法第23条の2の5第8項第1号に規定する医療機器又は体外診断用医薬品の区分を定める省令</li> </ul>	<p>医療機器を車両搭載する場合の安全基準等の整備</p>	なし	

ステップ1

平成20年6月

「健康寿命延伸都市」構想を表明。  
まちづくり基本方針として、市総合計画に反映

ステップ2

松本ヘルスバレー構想

平成23年7月

産業創出のための関係者を集結したプラットフォーム  
「松本地域健康産業推進協議会」を設置

平成23年12月

情報発信・蓄積の場  
「世界健康首都会議」を設置以降、毎年開催

\* 令和2年度10月23日  
「第10回世界健康首都会議」  
〈主な出演者〉

- ・台湾・デジタル担当大臣 **オードリー・タン** 氏
- ・(株)三菱総合研究所理事長 **小宮山 宏** 氏
- ・WHO西太平洋地域事務局長 **葛西 健** 氏
- ・(株)フィリップス・ジャパン 代表取締役社長 **堤 浩幸** 氏
- ・ソフトバンク株式会社 先端技術開発本部 **上村 実** 氏

ステップ3

平成27年3月

現役世代の健康投資を促す  
「松本市健康経営研究会」を設置

平成27年6月

地域包括ケアとヘルスケア産業の創出を目指して「医療・福祉・健康 ICT 基盤研究会」を設置

⇒平成28年3月

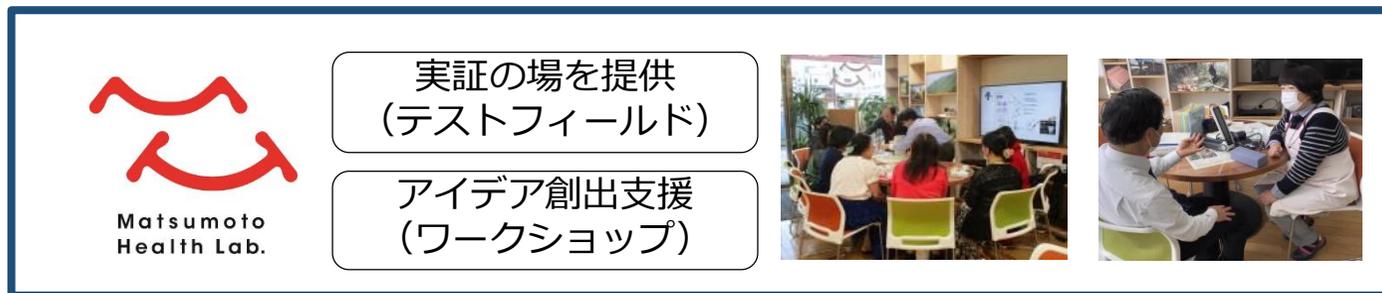
「松本版PHR」報告書作成

平成28年12月

市民の健康増進と新たなヘルスケアビジネスの実証の場として、  
「一般財団法人 松本ヘルス・ラボ」を設立 会員数 1,300名

令和元年

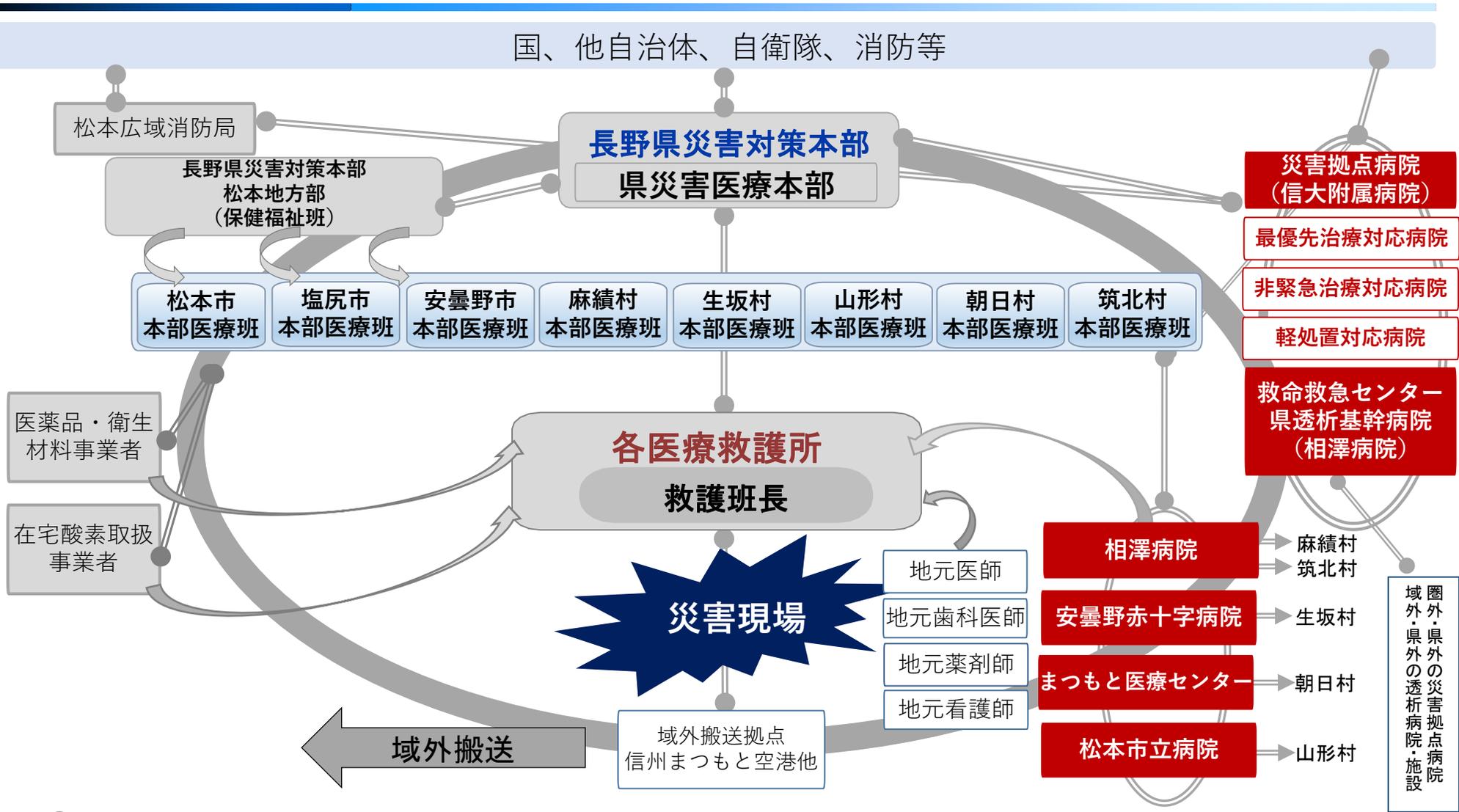
健康産業向けの工業団地完売  
(分譲面積約14.3ha)



No.	年度	事業名	事業者
1	28	「睡眠改善サポートアプリの効果検証」の実施支援	ウンログ株式会社、帝人株式会社
2	28	「中高年者を対象とした機能性素材摂取における体感調査」の実施支援	森永乳業、信州大学
3	28	「常時測定型の脈拍計を用いた生活習慣と健康に関する観察研究」の実施支援	セイコーエプソン、松本大学
4	29	「機能性素材の摂取によるストレス緩和作用に関する研究」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
5	29	「機能性素材配合食品の口腔の健康維持・改善作用に関する研究」の実施支援	森永乳業、松本歯科大学
6	29	『「金芽米」摂取による腸内細菌の改善効果に関する研究』のパイロットテスト	東洋ライス
7	29	「幼児を対象とした機能性素材配合ミルク摂取による感染症に対する効果のランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験」の実施支援	森永乳業、信州大学
8	30	「機能性素材の摂取が認知機能に与える影響に関する研究」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
9	30	「凍り豆腐の長期摂取によるHbA1c改善効果の検証」の実施支援	旭松食品
10	30	「EMS 機器による筋力増強による基礎代謝量の増加効果の検証」の実施支援	日本電熱
11	30	「サラシア摂取による便臭・便性の改善効果検証」の実施支援	富士フイルム、信州大学
12	30	「ビフィズス菌摂取による腸内フローラ変化について」の実施支援	森下仁丹、ウンログ
13	30	「血糖値および尿酸値に関する横断研究」の実施支援	森永乳業、松本短期大学

# 松本ヘルス・ラボにおける実証実験の実績（平成28年（2016年）～）

No.	年度	事業名	事業者
14	元	「血糖値および尿酸値に関する横断研究」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
15	元	「機能性素材摂取による糖代謝改善作用に関する食品モニター調査」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
16	元	「機能性素材摂取による尿酸値低減作用に関する食品モニター調査」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
17	元	「野菜料理および卵料理の摂取と健康との関連調査」の実施支援	キューピー、松本大学
18	元	「一般市民を対象とした血液検査値および生活習慣に関する横断研究」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
19	元	「赤ちゃんのための機能性素材モニター調査」事業に係る講座運営支援業務	森永乳業、松本市立病院 ※モニター事業自体にラボは関与しない
20	2	「軽度認知障害（MCI）検出プログラム開発」の実施支援	東京大学、MA&ADインシュアランスグループホールディングス(株)、三井住友海上あいおい生命保険(株)
21	2	「健康・筋力増進プログラム開発」の実施支援	東京大学、ヘルスグリッド(株)
22	2	「抑うつ症状と無意図的想起」の測定実施支援	信州大学
23	2	「機能性素材摂取による尿酸値低減作用に関する食品モニター調査」の実施支援	森永乳業、松本短期大学
24	2	「赤ちゃんのための機能性素材モニター調査」事業に係る講座運営支援業務	森永乳業、松本市立病院 ※モニター事業自体にラボは関与しない
25	2	「機能性素材摂取による口臭抑制効果に関する食品モニター調査」の実施支援	森永乳業、松本歯科大学
26	2	「機能性素材の免疫指標効果検証」の実施支援	森永乳業、松本大学
27	2	「免疫機能に関する横断研究」の実施支援	森永乳業、松本大学、松本市立病院



情報の動き
  人・物の動き